

患者の皆様へ

2019年10月8日

婦人科

現在、婦人科では、「卵巣、卵管、腹膜原発癌の腹腔内播種に対する Shear Wave Elastography (シエアウエーブ・エラストグラフィ) および Attenuation Imaging (アテニュエーション・イメージング) を用いた硬度と粘度測定に関する前方視的検討」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、卵巣・卵管・腹膜がんの患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「卵巣、卵管、腹膜原発癌の腹腔内播種に対する Shear Wave Elastography (シエアウエーブ・エラストグラフィ) および Attenuation Imaging (アテニュエーション・イメージング) を用いた硬度と粘度測定に関する前方視的検討」

2. 研究の意義・目的

手術を受けられる患者さんの検査の中で、通常行う経腹超音波検査を用いて、大網の播種結節の硬さと粘稠性を測定します。本研究により、大網播種結節の硬さと粘稠度の基準値が作成できれば、術前に播種結節の有無をより簡便に正確に行うことが可能となります。これは、方針決定の際に有用であり、治療を円滑に進めることができます。

3. 研究の方法

千葉大学医学部附属病院婦人科で卵巣・卵管・腹膜がんの診断で検査を受けられる患者さんに対して、腹部超音波検査を、専門の検査技師と医師によって行います。超音波検査を中心とした検査結果の一部を実際の手術所見と比較して評価します。この比較した研究内容は、学会・学術誌に公表予定です。特にこの研究に参加することで患者さんの負担が増えることはありません。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学医学部附属病院 婦人科病棟カンファレンス室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしま

すので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて行っています。

研究実施機関 : 千葉大学大学院医学研究院生殖医学

千葉大学医学部附属病院婦人科

本件のお問合せ先 : 千葉大学大学院医学研究院生殖医学

医師 楯 真一 043(226)2121